

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392400186
事業所名	グループホームRU・RU・RU

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の一斉清掃ではタオルを肩にかけ、張り切って腕をふるう利用者の笑顔があります。また運動系、音楽系、文化系いずれもレクリエーション活動が盛んで、普段から牛乳パックで紙すきはがきを手作りしており、地域の図書館内で配付して交流を図ったり、花の苗の色や形の配置に悩みつつ利用者が植えたプランターはJ Aや小学校に寄付され公益に向け尽力しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	コロナ禍の影響で参会はできていないものの、利用者と職員のみで隔月開催を続けています。後日、議事録を地域包括支援センターや民生委員、半田市高齢介護課、区長、利用者家族へ送付のうえ、意見を求める文面も添付しています。また議事録とともに事故やヒヤリハット記録、通信も同封しており、安心が滲みます。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市からの配信メールを確認し、窓口に出向く必要があれば出かけ、不明点は電話で質問などもできています。また職員には1名キャラバンメイトの活動に参加している者もいて、行政や関連団体から声がかかれば協力しており、昨年は事業所としても地域包括支援センターの意向に応じて、認知症啓蒙活動の取組みに参加しています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	サービスの開始では利用者家族からは「暮らしのアンケート」を記入してもらうとともに、本人からは「暮らしのシート」を開き取って、ケアに反映させています。また家族のアンケートにも「月ごとに写真入りで報告があり、ありがたい」との声があがっていて、総じて事業所の取組みを理解、評価しており、良好な関係にあることが窺えます。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								